

「キャリア月間」での三位一体のキャリア形成支援

経済産業省 大臣官房秘書課／組織経営改革事務局

取組の背景・目的

- 経済産業省として、多様化する政策領域対応のため、職員一人ひとりが能力や専門性を活かし、将来のキャリアパスを意識し経験を積むことで、個人と組織が共に成長していく環境を実現するべく、キャリアは“配属依存”から“自ら設計する”へと組織文化や個人の意識を転換する必要。
- 組織経営改革の一環として、現場マネージャー・若手職員の提案や声を取り込みながら、現場(上司) × 人事 × 本人が三位一体でキャリア形成を進めるMETI型人材育成モデル構築を目指して、10月・11月を「キャリア月間」とし、希望調査書の記入依頼発出と併せて取組を集中実施。

取組の内容

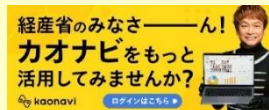
①10-11月を「キャリア月間」として全省機運醸成

- ✓ 次官メッセージ(10月1日、希望調査記載依頼と同時に発出)
- ✓ 職員向け「キャリア相談の仕方」説明会
(内閣人事局民間アドバイザーを講師に**250**名参加)
- ✓ 「ナナメの先輩」BBL
(「1・2個先」のナナメの先輩**36**名によるキャリアセッション
各部署若手係長中心に企画し、参加者のべ**1,001**名)



②カオナビ×ポスト開示×公募でキャリアパス見える化

- ✓ カオナビで入省年を元に先輩の略歴や自己紹介を検索、自身の研修受講歴、直近2年の希望調査や3年以内の任用意図(2,000件)も参照可能に！
- ✓ 省内のポストディスクリプションを全面開示
- ✓ 全在外ポスト、国内若手補佐・係長ポストを職種問わず公募



③異動希望調査を“キャリア設計ツール”へ再定義

「行きたい部署を書く」から「中長期の姿を描く」へ転換
→「Will-can-Mustモデル」を取り入れ、
本人の気づきと挑戦を促し。

変更後	
1.	過去の経験の棚卸し ※キャリアシート等の情報を転記（一部新設→）
2.	中長期のキャリアプラン
3.	仕事と私生活の両立に関する留意点 ※既存の設問に加え、WLBシートの情報を転記
4.	直近の異動希望

④職場・人事のキャリア構築伴走支援体制強化

- ✓ マネジメント向け 1on1研修
民間講師が現場の課室長・総括課長補佐等に
キャリア1on1実践のコツを伝授し、標準化
- ✓ METI CAREER DEVELOPMENT GUIDE改訂
総合職・一般職職員**90**名程度との意見交換を経て、
「本人向け」に加え、「マネージャー向け」も新規策定、
職種ごとのキャリアパスや支援策を強化。
- ✓ 秘書課任用のキャリア面談体制強化
30歳前後の若手への面談強化、ミドル・シニア向けチーム発足



取組の成果

11月末の省内パルスサーベイ
「キャリア月間を通じ、自身のキャリアを振り返るためのサポートを得られましたか？」への回答は、ポジティブが**約9割**